

03：工業都市の第一線で

商工労働部商工課水島港振興室

室長 **古賀 直彦** 【事務職】

＜経歴＞ 平成3年4月 市民部市民課
平成7年4月 水道局業務部水島営業所
平成8年4月 水道局業務部庶務課
平成15年4月 市長公室国際課
(平成18年度より主任)
平成20年4月 福祉部生活福祉課主任
平成20年8月 市長公室秘書課主任
平成24年4月 現職



■今、工業都市の第一線で

現在、商工課水島港振興室という職場で、水島コンビナートの振興や、国際拠点港湾である水島港の利用促進、また企業誘致に関する、市における窓口として仕事をしています。

倉敷市は、美観地区を代表とする観光都市としてよく知られていますが、日本有数の規模を誇る水島コンビナートを有する工業都市でもあり、倉敷市の製造品出荷額等は、全国市町村のトップクラス（平成24年工業統計調査では、全国第5位）です。

私は中学生の時、父の転勤で倉敷市に引っ越して来ました。その当時、倉敷市について知っていることは「水島コンビナートという大きな工業地帯があるまち」ということだけでしたが、今はその市の根幹を支えるコンビナートの発展に重要な役割を担う職場で働いていることを感慨深く思うとともに、業務の重要性に使命感を持ち、日々の仕事に取り組んでいます。

■企業誘致による水島港の発展

倉敷市の玉島地区は、古くは備前中山藩の港町として栄えた歴史のある地区ですが、その沖合に造られた総面積約245ヘクタールを誇る玉島ハーバーアイランドは、水島港の一部に位置し、国際物流の重要拠点として注目を集めています。

この玉島ハーバーアイランドは、岡山県が整備した人工島になりますが、企業誘致の際には、地元自治体の窓口責任者として県の担当者と連携し、企業との協議、折衝にあたることになります。

平成26年秋には、J A西日本くみあい飼料(株)、(株)J-オイルミルズ、全農サイロ(株)の企業誘致が実現し、穀物輸入から食品や飼料等の生産にいたる食料コンビナートの構築が予定されており、今後の水島港や地域経済のさらなる発展に大きな期待が寄せられています。

水島港と国内屈指のコンビナートである水島コンビナートが、グローバル化や国際社会での激しい競争に勝ち残るためには、立地企業の操業環境の整備をはじめ、企業誘致等によるさらなる発展が必要です。日本を代表する企業や、国や県の方々と係わる現在の仕事に大きな働きがいを感じていますし、係わる皆さんの仕事に対する姿勢から、大きな刺激を受けています。

■入庁からこれまでを振り返って

入庁してみて、まず、市役所には本当にいろいろな仕事があるのだな、と実感しました。最初の職場の市民課は、住民票を発行するなど、イメージ通りの「市役所」でしたが、その後の水島営業所では主に現場での仕事を中心でした。2つ目の職場まで、市民の方にサービスを提供するという市職員としての基本を学びました。

その後の異動では、水道局の庶務課で企業会計の経理に携わり、国際課では姉妹都市・友好都市との交流事業、在住外国人の方との仕事を通じ、倉敷市という存在をグローバルな視点で捉えることができたように思います。

また秘書課では、市が行政運営のため意思決定を行うプロセスを知る機会を得ることができ、大変勉強になりました。



玉島ハーバーアイランド

■市の発展のために力を尽くす

市役所の仕事は幅広く、困難なことも多いですが、一人では解決できない仕事や課題を、同僚や他の部署の職員等と連携して取り組むこと、事務職、技術職、先輩、後輩など、さまざまな立場の職員がそれぞれの専門性を持ち寄ってレベルの高い仕事を成し遂げられることが、市役所で働く醍醐味と言えます。

また、こうした様々な仕事を経験する中で、気づかなかった自分の適性や能力を知り、成長することができる職場だと思います。

皆さんが、それぞれの個性と得意分野を生かして新しい仕事に積極的にチャレンジし、自分の可能性をどんどん広げていけば、倉敷市はますます元気なまちになっていくと思います。